

平成28年5月31日

豊丘村村議会議長 下平 豊久 様

リニア中央新幹線トンネル工事発生土処分候補地の報告取り下げを求める請願書

(請願者) 豊丘村神稲7,254-1 リニア残土NO!小園の会

(紹介議員)

松下山
箱川利秋

会長 平澤恒雄
竹村直子

吉川聖徳

貴職におかれましては、日頃のご活躍に敬意を表します。

さて、2027年開業を目指すリニア中央新幹線は、長野県でも具体的に工事が始まろうとしています。11年後の夢、ロマンがこの伊那谷・豊丘村の発展につながってほしいと思います。

さて、山梨県(早川町)を入ったトンネルは南アルプスを貫き一旦大鹿村に出た後、今度は伊那山地を貫いて小園・壬生沢境に出てきます。豊丘村内でこのトンネル工事により発生する残土は225万 m^3 と見込まれており、村は村内3ヶ所を発生土処分地の候補地として長野県に報告しています。そのうちの1ヶ所が私たちの住む小園集落を流れる地蔵ヶ沢川の上流部「源道地集落」地籍です。JRによれば地蔵ヶ沢川上流部源道地集落の牛草沢と南の沢へ夫々約26万 m^3 づつ、合計約52万 m^3 (大型ダンプカー約10万台分)を埋めるという計画のようです。

「沢筋の谷を盛り土で埋めることなどとても常識では考えられない。」(土木業者・地質学者)と言うように、大量の残土で谷を埋めるということは大災害の種をまくようなもので、下流域「小園集落・150戸」に暮らす私たちは心配でたまりません。

現在「保安林」に指定されている両沢筋は、風倒木や竹の繁茂等で見荒れているように見えますが、多くのえん堤工事がされており今は安定しています。

55年前のあの伊那谷大災害・36災の時地蔵ヶ沢川も荒れましたが、幸い犠牲者は出ませんでした。

最近では広島市安佐南区の土石流災害(死者76名)、阪神淡路地震による西宮市の地すべり災害(死者34名)など「想定外」の大災害が起きています。加えて去る4月に起きた熊本地震では、大きな山崩れと、盛り土で造成した宅地は大部分が崩れるという大災害となりました。

盛り土で谷を埋めれば、土圧は年々高まります。土で埋まった木や竹の根は徐々に腐ります。土留めのコンクリートの寿命は50年と言われています。頻繁に起こる記録的な異常降雨や、間近かに発生すると言われている大規模地震により大量の土砂が流出すれば小園全部がつぶれてしまう様な想像を絶する被害が予想されます。

30年50年先、いや孫子の代にまで禍根は絶対に残してはならないと思います。「あの時こうやっておけばよかった。」では遅すぎます。

以上の趣旨から私たちは小園住民の署名129戸・387名を添付して次の事項についてお願いいたします。

【請願事項】

- 一、村が発生土処分候補地として県へ報告してある3ヶ所のうち、源道地地籍については報告を取り下げること。
- 一、村はJR東海へ、源道地発生土処分候補地に係る設計を中止させること。
- 一、村は県の「土砂災害特別警戒区域」「土石流土砂災害警戒区域」等に指定されている両沢筋の治山防災状況調査の申請を県へ提出すること。

※上記請願事項を村が可及的速やかに実行するよう、村当局へ働きかけて下さい。